

学校保健委員会だより

平成21年 3月 4日(水)
鹿児島市立甲南中学校
保健指導部 発行

今年度第2回学校保健委員会が、2月19日(木)に本校の視聴覚室で開催されました。今年度の保健指導部の活動反省や本校生徒の現状などについて協議しました。会の主な概要につきまして、簡単ですが紙面にて御報告させていただきます。

<本年度のテーマ>

「生涯にわたって心豊かにたくましく生きぬく子どもの育成」

～学校・家庭・地域社会の連携による「心の健康」への取り組みを通して～

- ★ 協議 (1) 保健指導部年間活動反省
- (2) 本校生徒の実態及び今後の対策
- (3) 質疑応答・意見交換
- (4) その他

★ 指導助言 学校医 (内科)納 利一先生, (耳鼻科)高木 茂先生, (歯科)松村 幸治先生



<主な内容>



～年間保健活動反省～

- ★保健指導・・・健康診断等計画に沿って進められた。今後内容の充実を図りたい。また、先日の換気検査結果を学級指導に生かしたい。
- ★安全指導・・・交通安全教室や校内安全点検を実施。不審者対策として門及び校舎出入り口の開閉は特に留意している。
- ★給食指導・・・寒くなり、手洗いが不十分な面や牛乳の残乳量の増加がみられたが、給食クラスマッチの実施でだいぶ改善した。今後指導を継続していきたい。
- ★体育指導・・・環境整備・健康観察の徹底・屋外活動時の服装等にも配慮しながら指導し、体力向上を図っている。継続指導していく。
- ★環境指導・・・清掃は、今後見えない所もきれいにする意識をもたせる指導をしていきたい。緑化については、環境部の生徒を中心に積極的自主的な緑化活動を進め、感受性豊かな生徒を育てたい。
- ★防火防災・・・防火訓練(4月)防災訓練(11月)を実施。問題点を次回の訓練に生かしていきたい。

～生徒会執行部・保体部反省～

執行部

- ・募金活動
- ・集合整列・あいさつの徹底
- ・繰り返し呼びかけることでだいぶ良くなっている。

換気はできているが、手洗い・うがいがあまりできていないので、しっかり呼びかけていきたい。

保体部長



給食部長

給食クラスマッチを実施したことで、準備や身なり・牛乳残量が減るなど良いところがたくさんあった。来年度は後片付けチェック項目も考えていきたい。

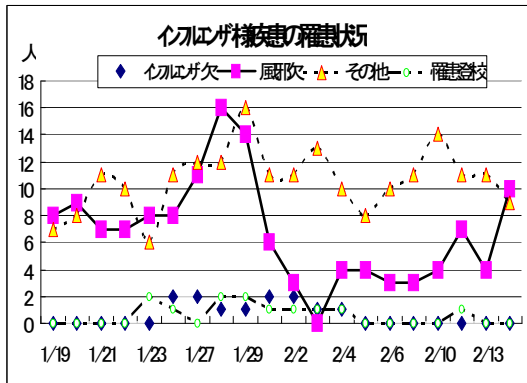
～PTA保体部年間活動計画～

努力点・・・会員の健康増進を図る。体育大会の参加を促し、会員相互の親睦を図る。

6月19日(木)	第1回 学校保健委員会
7月10日(木)	給食試食会
9月28日(日)	体育大会準備 体育大会への参加
10月20日(月)	市PTA連合会保健部担当者研修会
11月28日(金)	中央地区学校保健研究協議会参加
2月19日(木)	第2回 学校保健委員会

八幡小の「歯・口の健康づくり」を中心に各校の取り組みを学ぶことができた。意見の交換を通して、甲南中(スマネの取り組み等)の特色も再確認できた。等々

～インフルエンザ及び風邪の罹患状況(2/16 現在)～

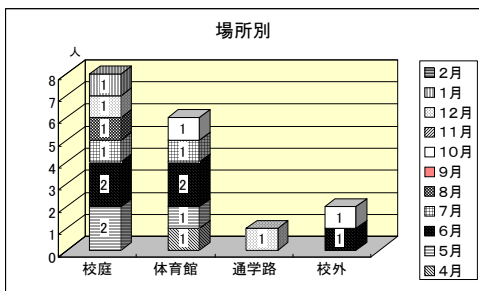


教室換気検査結果

休み時間…5分換気
 (窓を閉める)
 授業中…開始5分後 0.08%
 …開始40分後 0.17%
 休み時間…5分換気 0.07%

今年のピークは1/27～29と2/10で、昨年度(ピークは2/19)より早い感染状況がみられた。また、昨年も今年もインフルエンザによる欠席者は少ないが、昨年度に比べ、今年は風邪による欠席者が10名を越える日が多くみられた。(昨年度の同時期で風邪による欠席者10名以上の日は2日)先日の換気検査で教室の二酸化炭素濃度(0.15%以下が望ましい)を測定したところ、5分間の換気でかなり効果がみられた。学習効果をあげるためにも換気を呼びかけたい。

～事故発生状況(2/16 現在)～



日本スポーツ振興センター申請分のケガの状況は、17件中14件が骨折・捻挫・打撲のいずれかであった。発生時間は部活動中が最も多く、部活動の活動場所となっている校庭や体育館での発生率が高くなっていった。小さいケガが大事事故につながるよう、休み時間や教室内の過ごし方及び運動前の準備運動等について繰り返し注意を呼びかけたい。

～牛乳の効果(資料より)～

- こんなにある牛乳の効果
- ・病原体から体をガード。
 - ・免疫を高めて細胞を強くする。
 - ・骨密度UPで骨を丈夫にする。
 - ・血圧降下で血管を丈夫にする。
 - ・便秘解消で台帳をきれいにする。
 - ・不眠行方を解消する。
 - ・血流をよくして、コレステロール値を上昇させない。

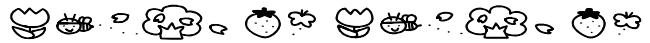
< 質疑応答・その他 >



※ もっと牛乳を飲みましょう!

- Q 体育大会が今回のような雨天の場合、3年生のプログラムをできるだけ優先してもらえたらと思います。また、晴天用雨天用と2つのプログラムがあったらいいかと思います。(保護者)
- A 今年度の天気はまさしく想定外でした。特に3年生にとってどうしたらいい方法であるかを全職員で十分協議の上、今回の様な方法をとらせていただきました。プログラムについては、今後十分に検討したいと考えています。(学校側)

< 指導講話 > ～校医の先生のお話～



★ 学校医 納利一先生(内科)

現在鹿児島県の引きこもり率が高くなっているとのこと。これは社会が病んでいることを反映している。子どもたち一人ひとりに“かけがえのない一人”だという自信をもたせることが大事である。そして、社会の中でかけがえのない一人となるためには、まず家庭でかけがえのない一人であるべきである。30年を1世代とした時7世代で社会が回復できるための取り組みを、三方限古典と銘打って活動している。興味がある方はホームページ <http://www.koutukigawa.jp> をご覧ください。

★ 学校医 高木 茂先生(耳鼻科)



インフルエンザの予防注射はあくまでも予防で、型があわないとインフルエンザにかかるし、型があっても3/10はかかってしまう。ただ、かかってもしんどくなくいとは言われている。また、うがいの効果については、菌がのどについて2時間以内なら効果が認められるが、4～5時間経ってしまうとあまり効果がみられない。早めにうがいをするのが大切である。最近では温暖化の影響か、花粉症の症状が出る時期が早まっている。気になる人は早めに耳鼻科受診してください。

★ 学校医 松村 幸治先生(歯科)

学校検診の結果、むし歯は減ってきているが歯周病が多い。学校側と協力してブラッシング指導などもできたらと考えている。折れた歯の措置については、軽く洗って牛乳に入れて保管し、近くの歯科医院を受診するとよい。また、3年生は、夜食にやわらかいものをとると歯垢につきやすく歯肉に影響があるため、食べた後は軟らかいブラシでていねいに磨くとよい。

保護者感想

一年間、大過なく無事に過ごせたことが、学校と生徒とPTAと校医の先生方が一体となって、甲南中の「健康」に取り組んだ成果だと心より感謝致します。ありがとうございました。同時に、今後の課題も明確になり、歯と歯ぐきの健康はその一つです。納先生のお話で、子どもの健康が甲南中の健康へ繋がり、鹿児島県の健康、日本の健康、世界の健康へと繋がるとありました。「心身ともに健やかに育てる」ことは容易なことではありません。まずは、親自身が「健康」であることを願っております。 保体部長 鮫島さん